

報告第9号

株式会社パブリックサービスの経営状況の報告について

株式会社パブリックサービスの経営状況は、別添のとおりであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

平成30年9月3日提出

逗子市長 平井 竜一

# 経 営 状 況

第27期事業年度 事業報告  
自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

第28期事業年度 事業計画  
自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

株式会社 パブリックサービス  
PUBLIC SERVICE CORPORATION

## 第27期 事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

株式会社パブリックサービス  
代表取締役 稲垣 正

### I. 事業の概況

#### 1. 事業の経過および成果

##### (1) 事業全般について

###### 【受託事業】

逗子市から受託した市営駐輪駐車場の管理運営、高齢者センター福祉バスの運行、環境クリーンセンターでの容器プラスチック選別業務、市内街区公園管理、児童登下校時交通整理業務などの公共サービス業務を順調に遂行しました。

###### 【指定管理事業】

逗子文化プラザ市民交流センターの指定管理業務は運営3年目に入り、市民協働の更なる推進を図るためスタッフ一同、創意工夫を凝らして利用者に愛されるセンター作りに邁進しました。当期は限られた予算の中で「共育（トモイク）ネットワーク事業」を継続発展させました。

###### 【自主事業】

逗子市民及び市内法人等を顧客とする当社独自の事業です。ガーデンケア（一般家庭の草刈り・樹木の剪定）は前期（26期）よりも多くの注文を頂きました。また民間施設管理業務も堅実に推移しております。

(※) 8ページに「事業一覧」を掲載しています。

##### (2) 安全第一と顧客サービス向上について

「安全第一」と「顧客サービス向上」は業務を遂行する上での根幹を成すミッションであり、引き続き役職員一同、力を合わせ真摯に取り組んでまいりました。

###### ① 安全第一

日々の安全衛生活動及び主任会議・衛生委員会を通じて安全強化を図っています。安全パトロールは年2回実施しており、社長・部長が各職場を巡回して課題の発見並びに業務改善活動に役立てております。指差呼称は各職場で励行しております。

###### ② 顧客サービス向上

当期は駐輪駐車場、公園管理、ガーデンケア及び本社勤務の社員を対象にプロのトレーナーによる接客マナー研修（講義及びロールプレイング）を実施いたしました。

##### (3) 高齢者雇用について

###### ① 再雇用制度（定年後1年勤務）

当期は再雇用審査（「勤労意欲・健康状態・勤務態度」の評価）を経て14人を再雇用しました。

## ② 健康管理

業務のミッションを達成する為には社員の健康管理は基本です。熱中症や季節の感染症に対しては都度注意喚起しており、勤務中の体調変化があれば即時に本社に報告するよう指導をしております。

## ③ 社員統計

当期末の社員総数は117名（うち女性15名）、平均年齢は67.6歳でした。

「第一事業部」69.4歳。「第二事業部（市民交流センター）」53.1歳。

（表1）をご参照ください。

【表1】

（単位：人）

事業年度（期末日）	社員 総数	内訳				備考
		60歳以 上男性	60歳以 上女性	60歳未 満男性	60歳未 満女性	
22期（平成25年3月末）	105	98	7	0	0	-
23期（平成26年3月末）	97	92	5	0	0	-
24期（平成27年3月末）	109	100	7	0	2	（注）
25期（平成28年3月末）	128	104	13	2	9	〃
26期（平成29年3月末）	124	106	8	2	8	〃
27期（平成30年3月末）	117	99	6	3	9	〃

（注）市民交流センターについては採用時の年齢制限を解除しています。

## (4) シルバーサービス事業について

当事業の売上高は105万円で前期比30%増と好調でした。

翌期（28期）は当シルバーサービス事業を一般家庭の生活関連サービス及び市内企業向けビジネスサービスとして展開する「ホームアンドビジネスサポート事業」に継承します。

## (5) 損益の状況（表2）

第27期会計年度：平成29年4月1日～平成30年3月31日

### ① 概要

全社売上高は2億1,056万円。営業利益184万円。経常利益244万円。当期純利益224万円でした。当期は逗子市からの受託総量減少及び受託契約額一律3%減額（3期目）がありましたが、経費節減及び自主事業の健闘で逗子ビジネスオフィス開設費用（一部）をも吸収し前期並みの利益をあげる事ができました。

逗子ビジネスオフィスのリフォーム費用[事務所床工事及びトイレ改装工事]190万円の50%にあたる95万円は新事業開発準備金から充当させて戴き、残り95万円及びその他事務所開設に要した什器備品費等は本社経費（一般管理費）で賄いました。

営業外収益は披露山自販機収入等（58万円）披露山レスタハウス純益（1万円）及び預金利息（2千円）です。特別利益及び特別損失に計上された280万円は「新事業開発準備金」及び「市民貢献準備金」に関する取崩益とそれに対応する費用です。

## ② 27期実績と27期予算の比較

当期の全社売上高は当期予算に比べ63万円増加（予算比100.3%）しました。利益面では売上原価の節減及び自主事業の貢献の結果、売上総利益（粗利）が予算比で159万円増加しました。

販売費及び一般管理費は予算比8万円減少、営業利益は167万円増加しました。

営業外収益に計上された預金利息及び自販機収入はほぼ予算通りでした。経常利益は166万円増加。特別損益の「新事業開発準備金」及び「市民貢献準備金」は予算内でした。

当期純利益は予算比で166万円増加しました。

## ③ 27期実績と26期実績の比較

当期の全社売上高は前期に比べ330万円減少（前期比98.5%）しました。これは主に学校開放業務（受託）の業務量が減少した事及び交流センターの「共育プロジェクト」予算が縮小した事に因ります。一方、自主事業（ガーデンケアほか）の売上は増加しました。

全体として売上高は減少しましたが原価節減努力及び自主事業の伸長で売上総利益（粗利）は前期より118万円増加しました。「販売費及び一般管理費」は前期比で増加していますが「逗子ビジネスオフィス」開設に要した経費が含まれています。

営業利益は前期より6万円増加しました。

特別損益の「新事業開発準備金」及び「市民貢献準備金」は前期比259万円増加しました。

経常利益は前期比で5万円増加。当期純利益は5万円増加でした。

【表2】損益計算書（要約）

（単位：千円）

	27期実績	27期予算	26期実績
（売上）			
受託事業	(112,939)	(116,966)	(115,378)
指定管理事業	(57,209)	(56,300)	(61,297)
自主事業	(40,412)	(36,664)	(37,194)
<b>売上高合計</b>	<b>210,561</b>	<b>209,930</b>	<b>213,870</b>
売上原価	188,175	189,135	192,665
<b>売上総利益（粗利益）</b>	<b>22,386</b>	<b>20,795</b>	<b>21,204</b>
販売費及び一般管理費	20,543	20,624	19,420
<b>営業利益</b>	<b>1,842</b>	<b>171</b>	<b>1,783</b>
営業外収益	600	605	647
営業外費用	0	0	42
<b>経常利益</b>	<b>2,443</b>	<b>776</b>	<b>2,388</b>
特別利益	2,808	11,700	212
特別損失	2,808	11,700	212
<b>税引前当期利益</b>	<b>2,443</b>	<b>776</b>	<b>2,388</b>
法人税等	200	200	200
<b>当期純利益</b>	<b>2,243</b>	<b>576</b>	<b>2,188</b>

（注）（ ）は売上高の内訳です。

## (6) 財政の状況

- ・ ガーデンケア事業では顧客サービス向上に対応するために軽トラック 1 台を追加購入しました。
- ・ 貸借対照表の純資産の部にある利益剰余金 7,750 万円には「新事業開発準備金」1,657 万円及び「市民貢献準備金」1,869 万円が含まれています。
- ・ 当社は全て自己資金で運営しています。

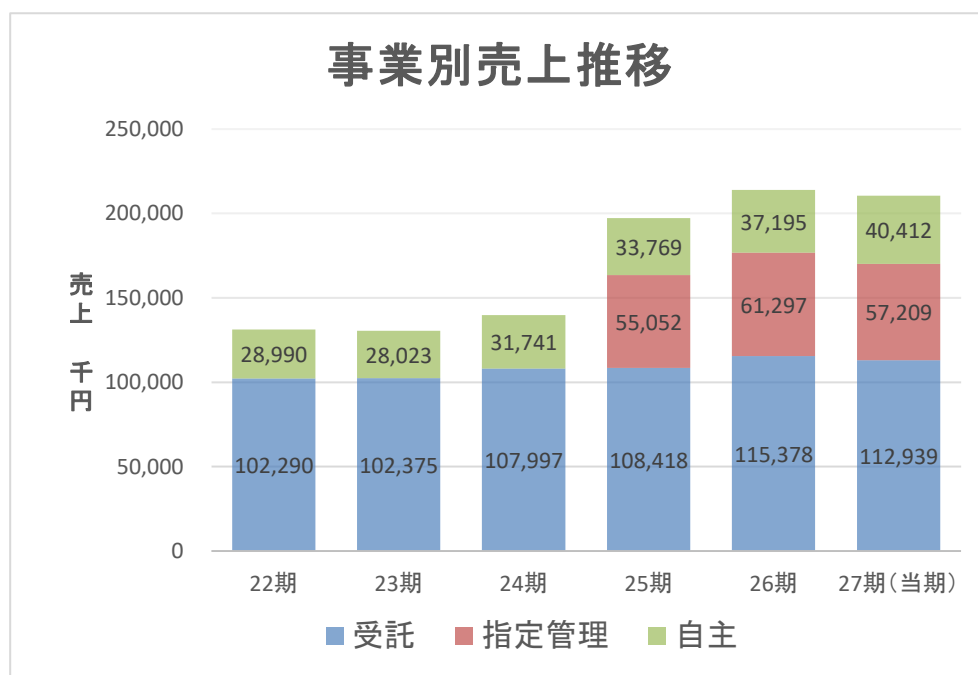
【表 3】 貸借対照表(要約)

(単位：千円)

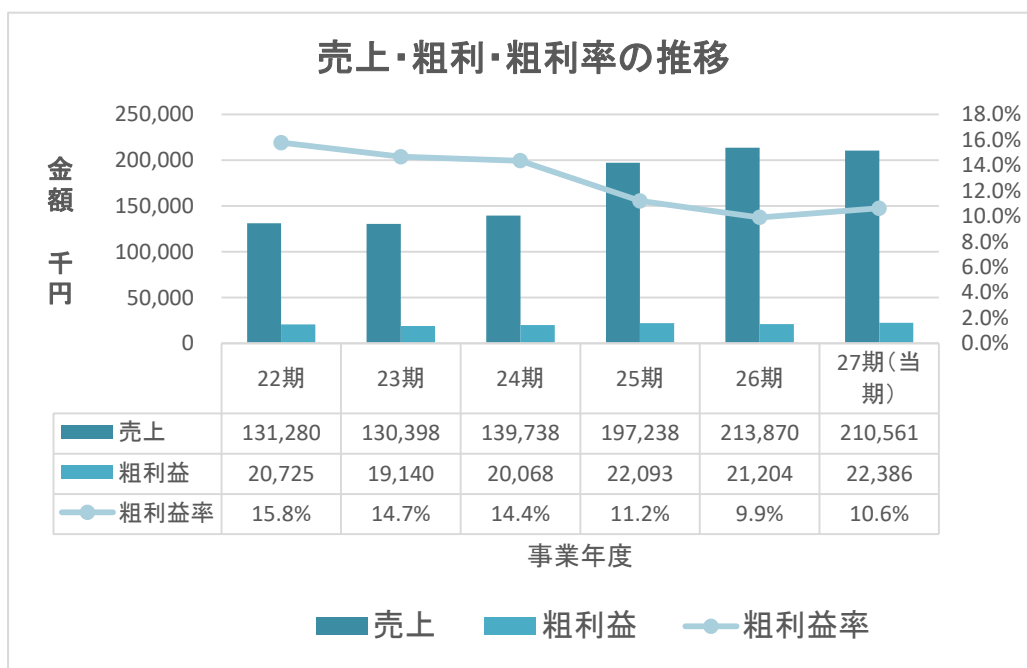
		27 期	26 期
		平成 30 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日
資 産	現預金	95,930	95,729
	その他流動資産	12,143	12,720
	固定資産	5,177	5,804
	<b>合計</b>	<b>113,251</b>	<b>114,254</b>
負 債 資 本	流動負債	22,345	22,783
	固定負債	3,000	3,000
	資本金	10,400	10,400
	新事業開発準備金	16,578	18,079
	市民貢献準備金	18,692	20,000
	その他利益剰余金	42,235	39,992
	<b>合計</b>	<b>113,251</b>	<b>114,254</b>

## (7) 事業損益の推移 (6 期分)

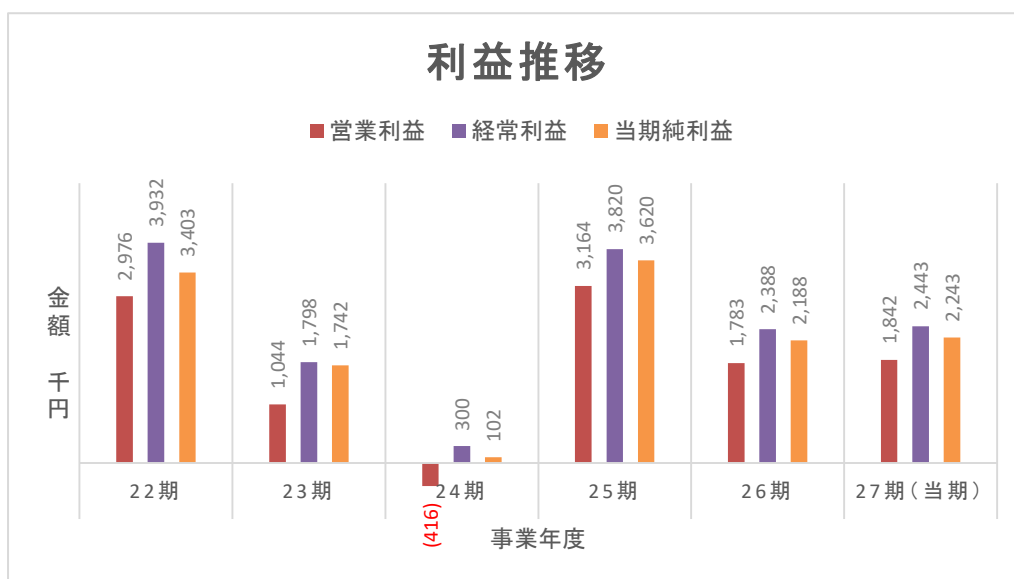
【表 4】



【表 5】



【表 6】



#### (8) 新事業開発の現況

- ・「逗子文化プラザホール」の指定管理者公募に応募致しましたが、残念ながら失注いたしました。今後も研鑽を積み指定管理者公募の機会があればチャレンジしてまいる所存です。
- ・現シルバーサービスの後継となる“ホームアンドビジネスサポート事業”の具体化に向けての事業所整備、情報収集及び事業計画の策定を進めてまいりました。

## 新事業開発準備金の実績

第 21 期株主総会（平成 24 年 6 月）で株主の了承を戴きました。

番号	項目	時期	当期金額	備考
1	逗子文化プラザホール入札準備費用	平成 29 年 7 月	54.7 万円	外注人件費及び文房具。
2	ホームアンドビジネスサポート：逗子ビジネスオフィス開設費用一部負担	平成 30 年 2 月	95.3 万円	事務所床工事及びトイレ改装工事の 50%負担。
	合計	—	150.0 万円	—

## (9) 市民貢献事業の実績

「市民貢献準備金」は逗子市民への貢献を目的とする基金で利益剰余金を原資としています。

第 25 期株主総会（平成 28 年 6 月）で株主の了承を戴きました。

番号	寄贈先	寄贈した 物品・サービス	場所	寄贈 時期	当期金額	備考
1	青い鳥（福祉団体）	テーブル／椅子等	市役所 1 階ロビー	平成 29 年 7 月	47.9 万円	—
2	グリーンハウス逗子・ 逗子清寿苑	人工知能ロボッ ト・ペッパー君	桜山 久木	平成 29 年 10 月	82.8 万円	2 台 3 年間で 600 万円
	合計	—	—	—	130.7 万円	—

## (10) 実施事業の利用者等の実績

1. 9 ページの表「事業実績に関する事項」をご参照ください。

## 2. 業務運営事項

- ・平成 29 年 4 月 逗子市等との間で 29 年度受託等の契約を締結
- ・平成 29 年 5 月 第 26 期 監査役監査の実施
- ・平成 29 年 6 月 28 日 第 26 期定時株主総会開催
- ・平成 29 年 7 月 「株式会社パブリックサービスの経営状況」を逗子市長へ提出
- ・平成 29 年 6 月以降 第 27 期取締役会 6 回開催しました。

## 3. 会社が対処すべき課題

### (1) 安全第一

安全で事故のない職場運営を行うため「指差呼称」の徹底をはじめ、業務の安全点検を継続的に実施します。

### (2) 顧客サービスの品質向上

マナー研修及び技能研修の実施を含め各職場のサービス品質を高めてまいります。

### (3) 新規事業の開拓

- ・「ホームアンドビジネスサポート事業」を通して広く市民向けサービスの開拓を目指します。
- ・逗子市の公共サービス代行者の役割を担うべく組織を整えてまいります。

### (4) 女性の雇用

当社には女性の雇用が少ないとの声があります。ホームアンドビジネスサポート事業を中心に女性の雇用及び活躍を推進してまいります。



## II. 会社の概況

### 1. 会社概要（平成30年3月31日現在）

設立年月日	平成3年（1991年）8月26日
払込資本金	1,040万円
主な事業内容	公共施設管理業務等
社員の状況	117名（うち女性15名） 平均年齢67.6歳
主な事業所	
（登記本店）	〒249-0003 逗子市池子4丁目948番地
（逗子ビジネスオフィス）	〒249-0006 逗子市逗子5丁目4番33号 逗子会館2階
事業年度	4月1日から翌年の3月31日までの1年

### 2. 株式の状況（平成30年3月31日現在）

(1) 発行済株式の総数 208株（1株5万円）

(2) 株主および出資状況

株主名	持株数	出資比率
逗子市	106株	51.0%
株式会社横浜銀行	10株	4.8%
かながわ信用金庫	10株	4.8%
湘南信用金庫	10株	4.8%
逗子市商工会	5株	2.4%
社会福祉法人地域福祉協会	1株	0.5%
社会福祉法人逗子市社会福祉協議会	1株	0.5%
市民株主 48名	63株	30.0%
その他	2株	1.0%

### 3. 取締役および監査役（平成30年3月31日現在）

職名・氏名	主な役職名
代表取締役 稲垣 正	当社社長
取締役 柏村 淳	逗子市副市長
取締役 安達俊雄	公益社団法人 鎌倉法人会相談役
取締役 若菜敏孝	社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会会長
取締役 桑原泰恵	逗子市体験学習施設内親子遊び場業務 総括責任者
監査役 小西一知	株式会社横浜銀行逗子支店長

## III. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当する事項はありません。

#### IV 業務の適正を確保するための体制の運用状況（参考）

1. コーポレートガバナンス
  - ・ 当社は取締役会設置会社であり、取締役会を年に6回開催しております。
2. コンプライアンス
  - ・ 法令遵守は事業を遂行する上で当然の事であり厳守してまいります。
  - ・ 「(株)パブリックサービス役職員行動規範（平成26年12月施行）」を制定しております。
3. リスク管理
  - ・ 万が一の事故に備えて必要十分な保険を付保しております。
  - ・ 想定される諸リスクに対して適正な対応がとれるように更なる対策を講じてまいります。
4. 内部統制
  - ・ 内部統制が機能する組織及び業務プロセスを構築してまいります。

##### [事業一覧]

<b>受託事業 委託者：逗子市</b>
駐輪場および駐車場（清水橋南駐輪駐車場、同北駐輪場、JR逗子駅西駐輪場、同東駐輪場）4ヶ所の管理運営
逗子市内各所と高齢者センターを結ぶ福祉バスの運行
市内街区公園（75ヶ所）およびハイキングコース（二子山自然遊歩道、神武寺鷹取山、ふれあいロード、披露山浪子不動）4ルートの維持管理
環境クリーンセンターでの容器プラスチック選別業務
放課後・土曜日などの学校施設開放管理業務（逗子小、久木小、沼間小、池子小）
小学校児童登下校時交通整理業務
郷土資料館管理業務
高齢者センター・グリーンメンテナンス
広報板掲示等業務
小坪保育園 園内樹木管理
自転車等保管場所管理業務

<b>指定管理 委託者：逗子市</b>
逗子文化プラザ市民交流センターを指定管理者として運営管理する事業

<b>自主事業 委託者：民間</b>
ガーデンケア（市内ご家庭やマンションのお庭の手入れ）
市役所地下駐車場を土・日・祝日と年末年始 営業する駐車場経営
逗葉地域医療センター様の施設管理・清掃・当直業務
逗子桜山クリニック様の当直業務
逗子清寿苑様の庭園管理
シルバーサービス事業

（注）事業報告、計算書類および株主資本等変動計算書はすべて消費税額抜きで表示です。

・ 金額は表示単位未満の端数を切り捨てて、またパーセンテージは表示単位未満の数字を四捨五入して、表示してあります。

（表4・5・6）の金額表示は表示単位未満を四捨五入してあります。

## 事業実績に関する事項

第 27 期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

事業		売上高(千円)	利用者数等	備考
受託事業（年間契約部門）				
	福祉バス運行管理	19,901	38,981 人	バス 3 台運行
	街区公園・ハイキングコース維持管理	8,173	-	75 公園、4 ハイキングコース
	広報板掲示等業務	1,387	62 ヶ所	
	郷土資料館管理	3,830	2,003 人	
	南・北駐輪駐車場管理	33,952	自動車 30,226 台	
			定期自転車 2,040 台	
			定期バイク 4,232 台	
			一時自転車 51,286 台	
			一時バイク 47,990 台	
	西・東駐輪場管理	14,938	定期自転車 3,867 台	
			定期バイク 2,401 台	
			一時自転車 64,044 台	
			一時バイク 24,509 台	
	高齢者センター他グリーンメンテナンス	198		春・秋各 1 回
	小坪保育園	43		園内樹木管理
	自転車等保管場所	3,858	自転車 445 台	
			バイク 55 台	
	学校施設開放管理（実績精算）	5,533	47,571 人	市内小学校 4 校
	容プラ処理業務（一部実績精算）	15,463	ベール 767 トン	前期比 68 トン増
	登下校時交通整理（実績精算）	5,663		8 ヶ所
指定管理者事業				
	会議室・市民交流スペース等利用者数	57,209	137,186 人	
	プール利用者数		59,373 人	
自主事業				
	市役所地下駐車場事業	3,742	6,592 台（有料駐車台数）	土・日・祝日・年末年始営業
	ガーデンケア	26,698	665 件	草刈り・庭木剪定 49 件増
	民間施設管理・清掃・当直	8,803		市内医療施設 2 ヶ所
	シルバーサービス事業	1,055		-
	その他	115		アーデンヒル緑化申請
(注)	披露山レストハウス売店	797		土日・祝祭日・年末年始営業。

(注) 披露山レストハウス売店は共同事業であり、売上高は損益計算書には反映していません。持分相当の出資金 (B/S) と損益 (P/L) のみが当社財務諸表に反映しております。

第27期貸借対照表  
(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>I 流動資産</b>		<b>I 流動負債</b>	
現金	670	未払費用	17,694
預金	95,260	未払法人税等	200
売掛金	10,604	未払消費税等	3,425
立替金	100	前受金	591
仮払金	504	預り金	421
前払費用	408	仮受金	11
未収入金	526	流動負債合計	22,345
流動資産合計	108,074	<b>II 固定負債</b>	
		修繕引当金	3,000
<b>II 固定資産</b>		固定負債合計	3,000
(有形固定資産)		<b>負債合計</b>	25,345
建物	0	(純資産の部)	
構築物	14	<b>I 株主資本</b>	
車両運搬具	4,653	資本金	10,400
工具器具備品	6	利益剰余金	
		利益準備金	120
(投資その他の資産)		その他利益剰余金	77,386
披露山売店出資額	502	別途積立金	13,000
		新事業開発準備金	16,578
固定資産合計	5,177	市民貢献準備金	18,692
		繰越利益剰余金	29,115
		<b>純資産合計</b>	87,906
<b>資産合計</b>	113,251	<b>負債・純資産合計</b>	113,251

(注)有形固定資産の減価償却累計額：27,372千円

第27期損益計算書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		
受託事業	112,939	
指定管理事業	57,209	
自主事業	40,412	
売上高合計		210,561
売上原価		188,175
売上総利益		22,386
販売費及び一般管理費		20,543
営業利益		1,842
営業外収益		
受取利息	2	
雑収入	598	
営業外収益合計		600
営業外費用		
雑損失	-	
営業外費用合計		-
経常利益		2,443
特別利益		
新事業開発準備金取崩益	1,500	
市民貢献準備金取崩益	1,307	
特別利益合計		2,808
特別損失		
新事業開発費償却	1,500	
市民貢献準備金償却	1,307	
特別損失合計		2,808
税引前当期純利益		2,443
法人税、住民税及び事業税		200
当期純利益		2,243

### 第27期株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金							
		利益準備金	その他利益剰余金				その他利益剰余金合計		
			別途積立金	新事業開発準備金	市民貢献準備金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,400	120	13,000	18,079	20,000	26,872	77,951	88,471	88,471
当期中の変動額	0	0	0	-1,500	-1,307	2,243	-564	-564	-564
新事業開発準備金取崩益				-1,500			-1,500	-1,500	-1,500
市民貢献準備金取崩益					-1,307		-1,307	-1,307	-1,307
当期純利益	0	0	0	0	0	2,243	2,243	2,243	2,243
当期末残高	10,400	120	13,000	16,578	18,692	29,115	77,386	87,906	87,906

(附属明細書)

財 産 目 録  
(平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 明 細	金 額	説 明
現金	670	現金
預金	95,260	預金残高
売掛金	10,604	逗子市受託分、逗葉地域医療センター、ガーデンケア、 逗子桜山クリニックその他
立替金	100	社員立替金
仮払金	504	駐輪・駐車場ほか釣り銭
前払費用	408	賠償責任保険前払分、自動車リサイクル預託金、
未収入金	526	市民交流センター使用料
建物	0	学校開放業務員詰所2棟(2円)、逗子ビジネスオフィス 改装工事(2円)
構築物	14	給排水設備
車両運搬具	4,653	バス3台、軽自動車9台、バイク1台
工具器具備品	6	物置2棟、キャッシュレジスター1台、プールロッカー
披露山売店出資金	502	共同事業出資分
合 計	113,251	

負 債 の 明 細	金 額	説 明
未払費用	17,694	従業員給与(3月分)、仕入債務
未払法人税等	200	逗子市、神奈川県
未払消費税等	3,425	鎌倉税務署
前受金	591	市民交流センター施設利用代金
預り金	421	所得税等、駐輪場ICカードほか
仮受金	11	自販機電気代
修繕引当金	3,000	—
合 計	25,345	

## 注記表

この書類記載の計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」にしたがって作成されています。

### (1) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1-1) 資産の評価基準および評価方法

個別原価法によります。

#### (1-2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法を採用しています。

無形固定資産 定額法を採用しています。

#### (1-3) 収益および費用の計上基準

収益は実現主義(販売基準)・費用は発生主義によります。

#### (1-4) 計算書類作成のための重要な事項

##### ① リース取引の処理方法

リース取引はありません。

##### ② 消費税などの会計処理

税抜方式によります。

### (2) 貸借対照表に関する注記

#### (2-1) 保証債務などの金額

当該債権債務の金額はありません。

#### (2-2) 取締役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

#### (2-3) 監査役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

### (3) 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (3-1) 発行済み株式の数

普通株式

前期末株式数	208株
--------	------

当期末株式数	208株
--------	------



## 監査報告書

平成30年5月8日

株式会社 パブリックサービス

代表取締役 稲垣 正 殿

監査役 小西 一知

私、監査役は平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第27期事業年度における事業報告、計算書類(貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書)及び付属明細書を監査した結果について、次のとおり報告します。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく報告しているものと認める。
2. 会計帳簿は、正しく記載されており計算書類の記載と合致していることを認める。
3. 計算書類は、計算書類規則に適合し法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
4. 付属明細書は、前掲規則に基づき正しく記載されており、会計帳簿及び計算書類の記載と合致していることを認める。
5. 業務の遂行に関し、法令若しくは定款に違反する重大な事実はなく公正であることを認める。

以 上

監査役の監査報告書 写

## 第 28 期 事業計画

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

### (1) 事業全般

今期事業計画の特徴は次の 2 点になります。

一点目は逗子市財政対策プログラムの影響による受託業務契約額の減少及びこれに伴う利益額の減少がある事。二点目は新規事業「ホームアンドビジネスサポート」の開始初年度になる事です。

業務遂行の基本である安全第一及び顧客サービス向上に関しては引き続き堅実かつ確実に履行いたします。

### (2) 事業目標

#### 【受託事業】

市営駐輪駐車場の管理運営、高齢者センター福祉バスの運行、環境クリーンセンターでの容器包装プラスチック選別業務、市内街区公園管理などの公共サービス業務は安全第一、顧客サービス向上を掲げ市民から信頼される業務を遂行します。

#### 【指定管理事業】

市民交流センター指定管理業務は 4 年目に入り契約期間 2 年を余す所となりましたがより多くの市民参加を図り交流の場及び情報発信の場としての機能を一層高めてまいります。

#### 【自主事業】

##### ① 既存事業

ガーデンケア、逗葉地域医療センターほか民間施設管理業務、土日祝日営業の市役所本庁舎地下駐車場業務も同様に安全第一、顧客サービス向上を目標として業務を進めます。

##### ② 新規事業

ホームアンドビジネスサポート事業を推進します。家事サポート（掃除など）、空き家点検サービスなど市民の生活に密着した業務の受注を目指します。尚、期中に市内商工業者様向け人材派遣業務にも着手する予定です。

### (3) 第 28 期事業予算

#### ・予算の構成

19 ページ記載の『第 28 期予算損益計算書（平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで）』をご参照ください。（金額の単位は千円、消費税抜きです。）

・予算は 3 部構成になっております。

I：受託事業・指定管理事業・自主事業に関する予算

II：新事業開発準備金に関する予算

III：市民貢献準備金に関する予算

## 予算概要

全社売上高は1億9,254万円（27期実績比1,801万円の減少）を見込んでいます。28期は逗子市からの受託業務の減少に伴い売上総利益（粗利益）も減少するため、販売費及び一般管理費を差し引いた営業利益は14万円を予想しています。営業外収益60万円を加算、経常利益は74万円。法人税等20万円を引いて当期純利益は54万円を見込んでいます。

## I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

### 【受託事業】

逗子市の財政対策に伴う事業の休止及び施設開館時間短縮等の影響による受託事業売上は27期比1,551万円減の9,742万円を見込んでいます。

（参考）契約額算定の基礎になる最低賃金（時給）は28期975円、27期960円。

（前期実績と比べ今期予算が減額になる業務一覧）

業務名	減少額（千円）	理由
福祉バス運行	2,051	高齢者センター土曜日休館
学校施設開放管理	2,293	管理方法変更（逗子小）
郷土資料館管理	3,830	休止
児童登下校時交通整理	5,663	休止（注）
自転車等保管場所管理	1,786	時間短縮
その他	(109)	-
計	15,514	

（注）児童登下校時交通整理の内、信号機の無い横断歩道3ヶ所は28期に限り市民貢献準備金を用いて当社が引き続き実施します。予算Ⅲをご覧ください。

### 【指定管理事業】

28期の市民交流センター「指定管理収入及び民営事業収入」合計は5,490万円を見込んでいます。開館時間短縮の影響で27期より230万円減少となりますが、民営部門の更なる活性化を図り予算以上の実績を達成したいと考えております。

### 【自主事業】

- ・自主事業全体の売上は27期実績から微減の4,021万円を見込んでいます。
- ・ガーデンケア業務は受注拡大を優先的に追求せず、サービスの向上・安全強化の見直しを行います。売上予算は27期実績より若干抑えています。
- ・民間施設管理業務については1件の新規受注を目指します。
- ・旧「シルバーサービス事業」は「ホームアンドビジネスサポート事業」に移行180万円の売上を見込んでいます。

## Ⅱ：新事業開発準備金に関する予算

予算総額 380 万円といたします。内訳は下記の通りです。

下記投資額は将来の回収を目指します。

新規事業名	概算金額（千円）	経費内訳
ホームアンドビジネスサポート事業	3,000	広告宣伝費（500 千円） 人件費（1,200 千円） 人材派遣業務開発（500 千円） その他（800 千円）
施設環境整備費	300	－
その他	500	事業予備費
<b>合計</b>	<b>3,800</b>	－

## Ⅲ：市民貢献準備金に関する予算

予算総額 720 万円といたします。内訳は下記の通りです。

事業名	概算金額（千円）	備考
人工知能ロボット・ペッパー君寄贈	2,000	逗子清寿苑・グリーンハウス逗子計 2 台。
児童登下校時の交通整理支援	2,400	逗子市役所前・小坪ヘルスケア前・久木小学校前の 3 ヶ所
校区自治協議会活動支援	800	沼間・池子・小坪・久木の 4 ヶ所（各 20 万円）
28 期実施の市民貢献事業	2,000	未定
<b>合計</b>	<b>7,200</b>	

（参考）この表は平成 30 年 4 月 1 日現在の用途確定分の明細です。

事業名	金額（千円）
<b>A:市民貢献準備金設定額</b>	<b>20,000</b>
<b>B:用途確定分</b>	
① 青い鳥 テーブル・椅子ほか寄贈	479
② 人工知能ロボット・ペッパー君	6,000
③ 児童登下校時の交通整理支援	2,400
④ 校区自治協議会活動支援	800
<b>計</b>	<b>9,679</b>
<b>C:未確定分 (A-B) = 残高</b>	<b>10,321</b>

以上

第 28 期 予算損益計算書

(期間：平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	科目	第 28 期予算	第 27 期実績 (参考)	差異
		①	②	① - ②
予算 I	(売 上)			
	受託事業収入	(97, 425)	(112, 939)	▲15, 514
	指定管理収入	(54, 906)	(57, 209)	▲2, 303
	自主事業収入	(40, 213)	(40, 412)	▲199
	<b>売上高合計</b>	<b>192, 544</b>	<b>210, 561</b>	<b>▲18, 017</b>
	売上原価	173, 143	188, 174	▲15, 031
	<b>売上総利益</b>	<b>19, 401</b>	<b>22, 387</b>	<b>▲2, 986</b>
	販売費及び一般管理費	19, 256	20, 544	▲1, 288
	<b>営業利益</b>	<b>145</b>	<b>1, 843</b>	<b>▲1, 698</b>
	(営業外収益)			
	受取利息	2	2	0
	雑収入	600	598	2
	合計	602	600	2
	(営業外費用)			
	雑損失	-	-	
	合計	-	-	
	<b>経常利益</b>	<b>747</b>	<b>2, 443</b>	<b>▲1, 696</b>
予算 II・III	(特別利益)			
	新事業開発準備金取崩益	3, 800	1, 500	2, 300
	市民貢献準備金取崩益	7, 200	1, 307	5, 893
	合計	11, 000	2, 808	8, 192
	(特別損失)			
	新事業開発費償却	3, 800	1, 500	2, 300
	市民貢献準備金償却	7, 200	1, 307	5, 893
	合計	11, 000	2, 808	8, 192
<b>税引前当期利益</b>	<b>747</b>	<b>2, 443</b>	<b>▲1, 696</b>	
法人税等	200	200	0	
<b>当期純利益</b>	<b>547</b>	<b>2, 243</b>	<b>▲1, 696</b>	

(注) ( ) は売上高の内訳です。